

立 足 鉛検出 17地点で基準超 保育園1.86倍 園庭立ち入り禁止

足立区は11日、同区関原1の土壤汚染調査(対象面積約4300平方メートル、47地点)で、私立保育園の園庭など17地点から、国の基準値を上回る鉛が検出されたと発表した。区は「いずれも、健康への影響が心配される濃度ではない」としているが、検出地点をシートで覆うなどの応急措置を取った。

区は基準値の1.86倍の鉛が検出された園庭について、シートで覆って立ち入り禁止とするよう園側に要請し、すでに園側が対応している。また、公社は汚染地点への立ち入りを制限。児童遊園は区が11日に閉鎖した。

ほか、区土地開発公社の所有地や民家敷地など、最高濃度は公社所有地で、基準値の4.13倍。鉛以外にも、児童遊園内の土壌から、基準値をわずかに上回るシアンが検出された。今回の調査は、市街地再開発事業の一環として、今年3月から区と地元住民らが共同で実施し、今月7日に中間結果が出た。深さ50センチまでの土壌を調査しており、区では今後、さらに深い土壌を調査し、状況を分析する。汚染の原因については分かっていないという。



江東支局
墨田区江東橋
2の13の4